

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ

テクニカル・ワークショップ

Three-day lecture and workshop on data management and archive

連続講義：データマネジメントとアーカイブ

開催のお知らせ・募集要項

フィールドワークで採録した一次言語データ（録音・映像など）は、適切にメタデータを付けてアーカイブ（保存）し、公開することによりはじめて当該の言語コミュニティや他分野の研究者の利用に供することができます。今回のワークショップでは、言語アーカイブの専門家である Nicholas Thieberger 博士をお迎えして、将来のアーカイブと利用を見越したデータの収集と管理の方法について3日連続でお話しいたします。

主な内容：

- 長期的なアーカイブに耐えるフィールドワークとデータ採録の手法（録音、書き起こし、グロス付加、コーパス構築）
  - ファイル名のつけ方とメタデータの管理
  - 言語アーカイブの作成、PARADISEC の活動の概要紹介
  - テキスト加工のための正規表現と複雑なコーパス検索の方法
- 上記のテーマにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

記

1. 開催日時：2017年1月16日（月）－18日（水） 10:30-12:00（全日程）

※各日とも終了後 16:30 まで、会場にてご自身のデータを使用した作業と、講師への質問・相談が可能です。

2. 開催場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）  
マルチメディア会議室（3F・304）

3. 講師：Nicholas Thieberger 博士（メルボルン大学、言語アーカイブ PARADISEC ディレクター）

4. 参加資格：記述言語学分野の大学院生・研究者を原則とします。

5. 参加申込方法：次の情報を下記「7. 申込先」宛に電子メールでお寄せ下さい。

(1) 氏名（ふりがな） (2) 所属 (3) 連絡先メールアドレス

※件名は必ず、テクニカル・ワークショップ「データマネジメントとアーカイブ」  
受講希望として下さい。

6. 申込締切：2017年1月12日（木） 午前11時59分

7. 申込先：

「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」事務局  
lingdy-apply[at]aacore.net（[at]を@に変えて送信ください）

8. その他：

- ・ 講義は英語で行います。通訳はありません。
- ・ 参加は無料です。

※ご不明な点がございましたら、上記「7. 申込先」までお問い合わせください。

※過去のテクニカル・ワークショップにつきましては、

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/data-pro-ws> をご覧ください。

主催（共催）：

頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム「危機言語・少数言語を中心とする循環型調査研究のための機動的国際ネットワーク構築」

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

以上